

投句欄 自由律の泉

①

1 散つて影を染める

新山 賢治

2 葉桜がピクリツともせず春日和

和崎 はると

3 伸びる豆苗空見る若葉

田中 美太

4 宅配の青年に子が産れ露地駆ける靴音

小山 榮康

5 語りあうことまだある散るなよ桜

金澤 ひろあき

6 愛でも恋でもないが二人で積木

黒瀬 文子

7 風鈴がときどき風を思い出している

久光 良一

8 さくらひらひら蝶になる

無 一

9 令和とや昭和一桁昔むかしの爺と婆

高村 昌慶

10 家系図の余白菜の花がいつぱい

井尾 良子

11 満月を片目で見ている

阿部 美恵子

12 吊革に届いて握れない私につかまる孫

伊藤 哲英

13 昭和、平成と生きのびて令和はどんな花が咲くやら

石竹 和歌子

14 誰も知らない行列の先

吉本 知裕

15 すりガラス少し開いてる あんたの心

佐川 智英実

16 春を待つ 掌たなごころ 水のかたち

野谷 真治

17 旅立ちへの躊躇い風の綿毛タンポポ

佐瀬 広隆

18 手書き文字の部屋に寝て起きる

富永 鳩山

19 天に星地に花の降る宇宙

植田 鬼灯

20 続きは言わない雨に張り付いた裾

富永 順子

\*\*\*\*\*

### 泉 鑑賞

棚橋麗未

5 語り合うことまだある散るなよ桜

満開の桜の下で、越し方・行く末・人生等話したい事が一杯ある。話尽きるまで桜よ、散らないでいてくれ！との願望。わかるな。

8 さくらひらひら蝶になる

青空の深さに吸いこまれて行きそうな蝶の姿、光一杯みなぎっている様に心惹かれた。

10 家系図の余白菜の花がいっぱい

家系図の余白に、菜の花の光一杯みなぎっている様子が何とも美しい。大好きな作品。

17 旅立ちへの躊躇い風の綿毛タンポポ

散らない花はない。タンポポの綿毛を吹いて遊んだ子供  
の頃が懐かしい。今旅立つ人の胸さわぎ、ためらいと、  
散る花を惜しむ気持ち、旅への不安、自然の流転をタンポ  
ポの綿毛に託して、人生をみつめ直している。巧みな作品  
です。

19 天に星地に花の降る宇宙

宇宙の真実、神秘・雄大な作品に心のまれた自然への讃  
歌に脱帽、感動しました。

● 係より

沢山の作品をお寄せいただき、ありがとうございます  
。始めたばかりで試行錯誤ですが、今回は棚橋麗未さん  
にお願いをして、好きな句を鑑賞していただきました。

次回のお願いです、同封の投句用紙に皆様の作品一  
句と、今回寄せられた作品に感想（100字程度まで）を  
いただきたいと思います（いずれか一方でも）。メールで

も受け付けます。

皆様方のお知恵を借りながら「泉」を育てていきたいと  
思いますので、よろしくお願いいたします。

送り先 〒193-0832 八王子市散田町2-58-4

平岡久美子

メール kumiko801@wh-wing.net

締め切り 2019年6月末日

★「作品はやはり縦書きにしたい」との声を受けて、ニュー  
スレターを今号より縦組みにしてみました。今後、会員の皆  
様からのお便りや、事務局に寄せられた声などもご紹介して  
いきたいと思います。投句募集やイベントなどの情報もお待  
ちしています。